

# 機密ファイルビューア利用方法

2023-11-01 版

株式会社日立ソリューションズ

## 1. はじめに

本書は、弊社のサイトよりダウンロードした機密ファイルビューアの使い方を説明しています。

### 1.1 機密ファイルビューアとは

機密ファイルビューアとは（以降、ビューア）、秘文機密ファイルを復号・閲覧するプログラムです。秘文機密ファイルとは暗号化され、パスワードで保護されたファイルのことです。表 1-1 に復号・閲覧対象の秘文機密ファイルについてまとめます。

表 1-1 秘文機密ファイルの種類

ファイルアイコン	ファイル種類	拡張子	保護内容・特徴
	復号型の秘文機密ファイル	dea, aea <sup>※</sup>	復号するにはパスワードが必要となるため、ファイル内のデータの安全性が高まります。
	閲覧型の秘文機密ファイル	dpa	閲覧専用の暗号化ファイルです。ファイルの編集・印刷・内容のコピー・プリントスクリーンはできません。

注※ V10 までの秘文シリーズ，JP1/秘文シリーズにより作成された秘文機密ファイルです。

## 1.2 対象製品

表 1-2 に示す製品で作成した機密ファイルの復号・閲覧が可能です。

表 1-2 対象製品

対象製品	対象バージョン	
	日本語版	英語版
秘文 AE Information Cypher	07-50 以降のバージョン	08-01 以降のバージョン
秘文 AE Optical Disc Encryption	09-00-/C 以降および 09-10 以降のバージョン	なし
秘文 AE MailGuard	07-50 以降のバージョン	なし
秘文 AE 開発キット	07-50 以降のバージョン	なし
秘文 File Encryption	07-51 以降のバージョン	なし
秘文 AE ContentsGate Base	10-00 以降のバージョン	なし
秘文 AE ContentsGate 開発キット	10-00 以降のバージョン	なし
秘文 AE SmartDevice Extension	10-02 以降のバージョン	なし
秘文 AE SmartDevice Encryption for Windows	10-02 以降のバージョン	なし
秘文 Server Extension	10-00 以降のバージョン	なし
ContentsGate Base	01-00 以降のバージョン	なし
ContentsGate 開発キット	01-03 以降のバージョン	なし
JP1/秘文 Advanced Edition Information Cypher	07-51 以降のバージョン	08-01 以降のバージョン
JP1/秘文 Advanced Edition Optical Disc Encryption	09-00-/C 以降および 09-10 以降のバージョン	なし
JP1/秘文 Advanced Edition MailGuard	07-51 以降のバージョン	なし
JP1/秘文 Advanced Edition 開発 キット	07-51 以降のバージョン	なし
JP1/秘文 Advanced Edition File Encryption	07-52 以降のバージョン	なし
秘文 Data Encryption	11-01 以降のバージョン	11-02 以降のバージョン
秘文 Data Protection	11-00 以降のバージョン	11-02 以降のバージョン
JP1/秘文 Data Encryption	11-02-/A 以降のバージョン	11-02-/A 以降のバージョン
JP1/秘文 Data Protection	11-02-/A 以降のバージョン	11-02-/A 以降のバージョン

### 1.3 ビューアの実行環境

表 1-3 ビューアの実行環境

項目	内容
OS <sup>※1</sup>	次のどれかの OS がインストールされていることが前提です。なお、64 ビット版の Windows では、WOW64 <sup>※2</sup> モードだけに対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows 10 Pro</li> <li>• Windows 10 Pro for Workstations</li> <li>• Windows 10 Enterprise</li> <li>• Windows 10 IoT Enterprise</li> <li>• Windows 11 Pro</li> <li>• Windows 11 Enterprise</li> <li>• Windows Server 2016 Standard<sup>※3※4</sup></li> <li>• Windows Server 2016 Datacenter<sup>※3※4</sup></li> <li>• Windows Server 2019 Standard<sup>※3※4</sup></li> <li>• Windows Server 2019 Datacenter<sup>※3※4</sup></li> <li>• Windows Server 2022 Standard<sup>※3※4</sup></li> <li>• Windows Server 2022 Datacenter<sup>※3※4</sup></li> </ul>
CPU	各 OS で規定されているシステム要件に準じます。
メモリ	各 OS で規定されているシステム要件に準じます。
ハードディスク	秘文機密ファイルのファイルサイズ×3+50MB 以上が必要です。
その他	閲覧型の秘文機密ファイルを閲覧する場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネットに接続できる環境が必要です。</li> </ul>

注※1 日本語版の Windows かつ表示言語が日本語の環境に対応しています。

注※2 WOW64 モードとは、64 ビット版の Windows 上で 32 ビット版の Windows をエミュレートする、Windows の動作モードのことです。

注※3 閲覧型の秘文機密ファイルは閲覧できません。

注※4 Server Core および Nano Server の構成には対応していません。

## 2. ビューアの実行

### 2.1 インストール

秘文機密ファイルを復号・閲覧するための、ビューアのインストール方法をここでは説明します。すでにインストール済みの場合、この手順は不要です。

- (1) 弊社ダウンロードサイトよりインストール先の OS に応じたインストーラ (hbnvinst.exe) を入手します。
- (2) インストーラをダブルクリックし、実行します。

#### 注意

- OS の設定で UAC が有効化されている環境では、ビルトインアカウントの Administrator 以外のユーザーで操作すると、ユーザーアカウント制御のダイアログが表示されることがあります。このダイアログで権限昇格を許可すると、インストールを開始できます。

- (3) インストール画面が表示されたら、[次へ] をクリックし画面を進めます。
- (4) [インストール] をクリックすると、インストールが行われます。デスクトップ上に秘文機密ファイルを開くためのショートカットが作成されます。
- (5) 完了画面が表示されたら、[完了] をクリックしてインストール手順は終了となります。

#### 注意

秘文機密ファイルをダブルクリックしても、ビューアが起動しない場合、関連付けが正しく行われていない可能性があります。以下の手順を実施して関連付けの設定を回復してください。

1. [スタート]メニューから[設定]→[アプリ]→[既定のアプリ](OS のバージョンによっては、[設定]→[システム]→[既定のアプリ])を開きます。
2. 既定のアプリ画面で、[ファイルの種類ごとに既定のアプリを選ぶ](OS のバージョンによっては[ファイルの種類で既定値を選択する])を開きます。
3. 表示された一覧を参照し、既定のアプリの設定が次のようになっていることを確認してください。「既定のアプリ」がすべて「HIBUN」と表示されている場合は関連付けが正しく行われています。関連付けが正しく行われていない場合は、手順4を実施してください。

名前	既定のアプリ	備考
.aea	HIBUN	
.dea	HIBUN	
.dpa	HIBUN	Windows 10, Windows 11 の場合にだけ表示されます

4. 「既定のアプリ」が「HIBUN」となっていない項目を選択し、表示された画面で「HIBUN」を選択し、既定プログラムの変更を適用してください。

#### 注意

ビューアは、Sysprep の CopyProfile 設定を使用した Windows イメージの作成に対応していません。機密ファイルビューアのインストールは、Windows イメージを展開後、ユーザごとに実施してください。

## 2.2 ビューアの起動

ビューアの起動方法を示します。エクスプローラ上で復号型の秘文機密ファイル（拡張子 aea または dea）あるいは閲覧型の秘文機密ファイル（拡張子 dpa）をダブルクリックすると、ビューアが起動します。復号型の秘文機密ファイルの復号方法は 2.3、閲覧型の秘文機密ファイルの閲覧方法は 2.4 に記載しています。

## 2.3 復号型の秘文機密ファイルの復号方法

復号型の秘文機密ファイルをビューアによって、復号する方法を示します。

- (1) ビューアのパスワード認証画面で、パスワードおよび展開先フォルダ名を入力します。
- (2) 入力後に [OK] ボタンをクリックします。パスワードが認証されて、「展開先フォルダ名」で指定したフォルダに展開されます。

図 2-1 復号操作画面



### ・ パスワード

復号型の秘文機密ファイルを復号するためのパスワードを入力します。

### ・ 展開先フォルダ名

機密ファイルを展開するフォルダ名を入力します。フォルダ名はフルパスで指定してください。なお、機密ファイルに含まれるファイルに、展開後のフルパスの長さが 255 文字を超えるファイルがある場合、復号できません。

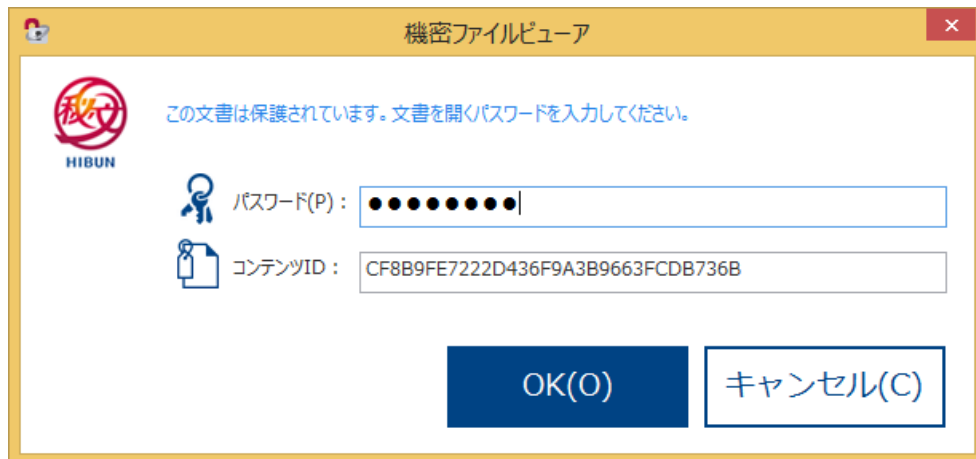
## 2.4 閲覧型の秘文機密ファイルの閲覧方法

### 2.4.1 ビューア使用方法

閲覧型の秘文機密ファイルをビューアによって、閲覧する方法を示します。

- (1) ファイルを開くためのパスワードを入力するダイアログが表示されます。パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

図 2-2 閲覧操作画面



- (2) ビューアが起動し、閲覧型の秘文機密ファイルの内容が表示されます。
- (3) 図 2-3 と表 2-1 を参考にし、ビューアを操作します。2.4.2 にビューアの操作画面や機能を記載します。

## 2.4.2 ビューア画面詳細説明と使用方法




図 2-3 メイン画面の構成



- ・ **メニューおよびツールバー**  
ビューアを操作します。ビューアのメニューとツールバーの操作については、次の表を参照してください。
- ・ **しおりボタン**  
クリックすると、画面左側にしおりを表示します。

- サムネイルボタン  
クリックすると、画面左側にサムネイルを表示します。
- 縦スクロールバー  
ファイル内容が、1 ページに表示できない場合、縦スクロールバーを動かしてスクロールします。

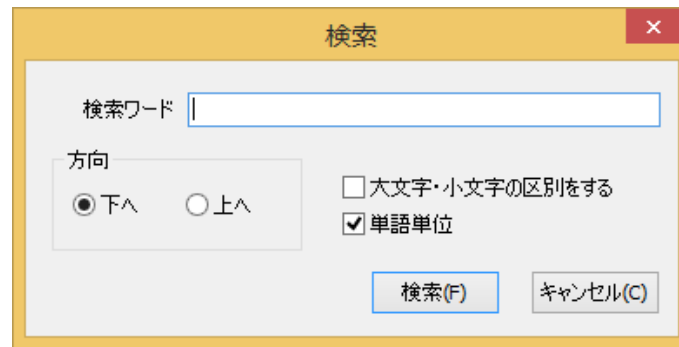
表 2-1 ビューアのメニューとツールバー

メニュー		ツールバー	説明
メインメニュー	サブメニュー		
ファイル	終了	-	ビューアを終了します。
ツール	検索		検索ダイアログを表示します。 検索ダイアログの詳細については、「2.4.3 ファイル内のワード検索」を参照してください。
表示	単ページ	-	表示領域に1ページ表示します。
	見開き	-	表示領域に2ページ表示します。
	全体表示	-	表示領域に1ページの全体が収まるように表示します。
	幅に合わせる	-	表示領域の横幅に合わせて表示します。
	ページ境界表示	-	ページの区切りに境界を表示するかどうかを指定します。
	拡大		表示内容を一段階拡大します。
	縮小		表示内容を一段階縮小します。
ページ	最初のページ	-	最初のページを表示します。
	前のページ	-	現在表示しているページの前のページを表示します。
	次のページ	-	現在表示しているページの次のページを表示します。
	最後のページ	-	最後のページを表示します。
	ページ指定	-	ページ指定ダイアログを表示します。 ページ指定ダイアログの詳細については、「2.4.4 ファイル内の指定のページを表示」を参照してください。
ヘルプ	オンラインヘルプ	-	ヘルプの Web ページを開きます。

### 2.4.3 ファイル内のワード検索

- メニューの [ツール] - [検索] メニューをクリックまたは [検索] ツールバーをクリックすると、検索ダイアログを表示します。
- 検索ダイアログで、検索ワードを入力して [検索] ボタンをクリックすると、閲覧型の秘文機密ファイルを検索します。

図 2-4 検索ダイアログ



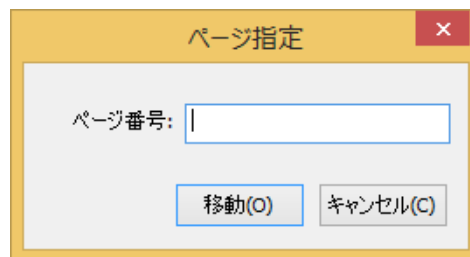
- 単語単位

単語単位で検索するかどうかを指定します。単語単位で検索する場合はチェックボックスをオンにします。デフォルトはオンです。単語単位とは、テキストボックスに入力した単語と完全に一致する単語だけを検索します。

## 2.4.4 ファイル内の指定のページを表示

- (1) メニューの [ページ] - [ページ指定] メニューをクリックすると、ページ指定ダイアログを表示します。
- (2) ページ番号を入力して [移動] ボタンをクリックすると、入力したページ番号のページを表示できます。入力したページ番号のページが存在しない場合は、先頭ページが表示されます。

図 2-5 ページ指定ダイアログ



## 2.5 アンインストール

- (1) [コントロールパネル]で、[プログラムのアンインストール]または[プログラムと機能]を選択し、インストールされているプログラムの一覧を表示します。
- (2) 一覧から [機密ファイルビューア] を選択して、[削除] または [アンインストール] をクリックします。  
「機密ファイルビューア」が表示されない場合は、この手順を実施する必要はありません。
- (3) 次のフォルダを削除してください。

- Windows Server の場合

%ProgramFiles(x86)%¥HitachiSolutions¥Hibun Data Protection



注※ 環境変数 ProgramFiles(x86)には、通常は「システムドライブ:¥Program Files(x86)」が設定されています。

- Windows 10 以降の場合

%LocalAppData%¥¥Programs¥HitachiSolutions¥HIBUN Data Protection

注※ 環境変数 LocalAppDataには、通常は「システムドライブ:¥Users¥Windows ログオンユーザ名 ¥AppData¥Local」が設定されています。

## 3. メッセージ

---

ビューアが表示するメッセージを、メッセージ ID の数字順に説明します。

### 3.1 RMVWR で始まるメッセージ

---

#### RMVWR\_MSGID\_W0001

---

パスワードに誤りがあります。

対処方法

Caps Lock がオンでないことを確認した上で、正しいパスワードを入力してください。

---

#### RMVWR\_MSGID\_E0002

---

このファイルは閲覧停止されているため、閲覧することはできません。

対処方法

ファイル作成者に連絡してください。

---

#### RMVWR\_MSGID\_E0003

---

ファイルを開覧できる有効期限が過ぎているため、このファイルを開覧することはできません。

対処方法

ファイル作成者に連絡してください。

---

#### RMVWR\_MSGID\_E0005

---

この OS には対応していないため、閲覧することができません。

対処方法

サポート対象の OS で開いてください。

---

#### RMVWR\_MSGID\_E0006

---

対応していないファイル形式のため、閲覧することができません。

対処方法

ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者は、もう一度閲覧型機密ファイルを作成し、閲覧できるか確認してください。同じエラーが表示される場合、ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

---

#### RMVWR\_MSGID\_E0007

---

Windows の Aero 機能を有効にできませんでした。機密ファイルビューアを終了します。

対処方法

Windows の Aero 機能が有効な環境で閲覧型機密ファイルを開いてください。すでに Aero 機能が有効になっている場合には、閲覧型機密ファイルを開き直してください。  
リモートデスクトップ接続では閲覧型機密ファイルを開けません。

RMVWR\_MSGID\_E0010

---

プロキシ認証に失敗しました。指定した認証情報が誤っている可能性があります。

対処方法

正しい認証情報を入力してください。

RMVWR\_MSGID\_E0011

---

このファイルは閲覧できなくなっています。

対処方法

ファイル作成者に連絡してください。

RMVWR\_MSGID\_E0012

---

ファイルのパス長が長すぎます。ファイルのパス長を 260 文字より短くして再度実行してください。

対処方法

ファイルのパス長を 260 文字より短くしてからもう一度操作してください。

RMVWR\_MSGID\_E0013

---

ユーザ環境変数 TMP のパス長が長すぎます。ユーザ環境変数 TMP のパス長を 218 文字より短くして再度実行してください。

対処方法

ユーザ環境変数 TMP\*のパス長を 218 文字より短くしてからもう一度操作してください。

注※ ユーザ環境変数 TMP には、通常は

「システムドライブ:¥Users¥Windows ログオンユーザ¥AppData¥Local¥Temp」  
が設定されています。設定されているパスの末尾に¥が含まれない場合には、パス長を 217 文字よりも短くして再度実行してください。

RMVWR\_MSGID\_E0014

---

秘文 Data Protection サーバとの通信に失敗しました。PC の日付と時刻が正しいか確認してください。

対処方法

PC の日付と時刻が正しい場合は、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

RMVWR\_MSGID\_E0015

---

閲覧型機密ファイルを開くには、ファイルをダブルクリックするか、このショートカットにファイルをドラッグアンドドロップしてください。

RMVWR\_MSGID\_W0017

---

パスワードが入力されていません。

対処方法

パスワードを入力してください。

RMVWR\_MSGID\_E8001

---

秘文 Data Protection サーバに接続できません。ネットワークに接続されているか確認してください。

対処方法

ネットワークに接続されているか確認してください。ネットワークに接続されている場合は、時間をおいてもう一度操作してください。また、Readme の「困ったときは」を確認し、該当する事象があれば、対処してください。

同じエラーが表示される場合は、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

RMVWR\_MSGID\_E9001

---

内部エラーが発生しました。(エラーコード)

対処方法

Readme の「困ったときは」を確認し、該当する事象があれば、対処してください。同じエラーが表示される場合は、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

## 3.2 RMDWL で始まるメッセージ

### RMDWL\_MSGID\_W0001

---

別プログラムが機密ファイルビューアをインストール中です。インストール完了後に再度実行してください。

#### 対処方法

時間をおいてもう一度操作してください。

### RMDWL\_MSGID\_E0002

---

機密ファイルビューアが正しくインストールされていない可能性があります。以下のフォルダを削除して、再度実行してください。

フォルダ名

#### 対処方法

フォルダを削除してからもう一度操作してください。

### RMDWL\_MSGID\_E0003

---

ファイルが壊れています。ファイルが正しく作成されていない可能性があります。

#### 対処方法

ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者は、もう一度閲覧型機密ファイルを作成し、閲覧できるか確認してください。同じエラーが表示される場合、ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

### RMDWL\_MSGID\_E0004

---

インストールに失敗しました。ダウンロードしたファイルが壊れている可能性があります。再度実行してください。

#### 対処方法

もう一度操作してください。同じエラーが表示される場合は、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

### RMDWL\_MSGID\_E1001

---

この OS には対応していません。

#### 対処方法

Windows 10 以降の OS で操作してください。

### RMDWL\_MSGID\_E1002

---

ファイル名が長すぎます。ファイル名を短くして再度実行してください。

#### 対処方法

ファイル名を短くしてからもう一度操作してください。

RMDWL\_MSGID\_E8001

---

秘文 Data Protection サーバに接続できません。ネットワークに接続されているか確認してください。

詳細： [詳細情報](#)

対処方法

ネットワークに接続されているか確認してください。ネットワークに接続されている場合は、時間をおいてもう一度操作してください。同じエラーが表示される場合は、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

RMDWL\_MSGID\_E8002

---

ネットワークでの通信エラーが発生しました。

詳細： [詳細情報](#)

対処方法

ネットワークに接続されているか確認してください。ネットワークに接続されている場合は、時間をおいてもう一度操作してください。同じエラーが表示される場合は、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

RMDWL\_MSGID\_E8003

---

ネットワークでの通信エラーが発生しました。

詳細： [詳細情報](#)

対処方法

ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

RMDWL\_MSGID\_E8004

---

ネットワークでの通信エラーが発生しました。

対処方法

ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

RMDWL\_MSGID\_E9001

---

内部エラーが発生しました。

対処方法

ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

RMDWL\_MSGID\_E9002

---

内部エラーが発生しました。

詳細： [詳細情報](#)

対処方法

ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

RMDWL\_MSGID\_E9003

---

内部エラーが発生しました。

詳細：[詳細情報](#)

対処方法

もう一度操作してください。同エラーが表示される場合は、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

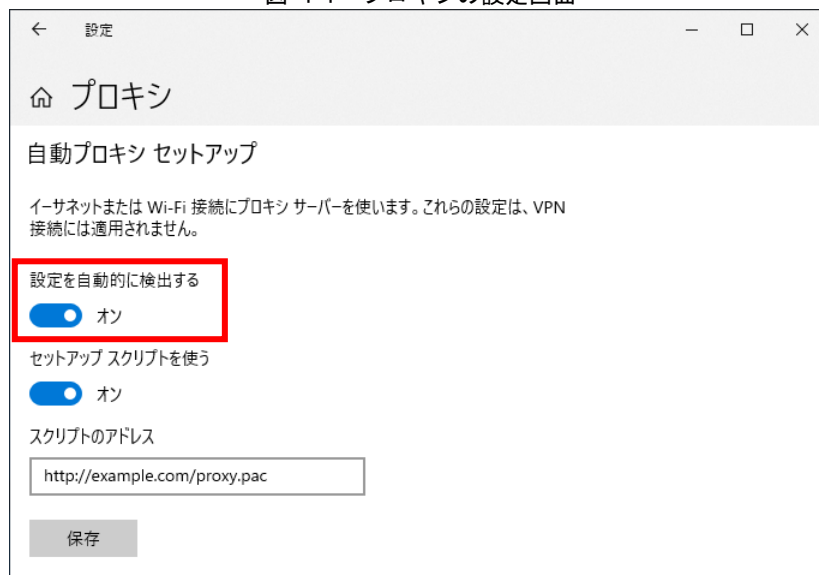
## 4. 困ったときは

- (1) 「RMVWR\_MSGID\_E8001」が表示され、閲覧型の秘文機密ファイルを閲覧できません。

Windows のプロキシサーバーの設定により、本メッセージが表示されることがあります。以下の手順で、Windows のプロキシサーバーの設定の確認をお願いします。

- (a) Internet Explorer または Microsoft Edge を起動します。
- (b) ブラウザで以下の URL にアクセスして、エラーにならず白いページが表示されることを確認してください。  
<https://hibun-dp.hitachi-solutions.co.jp/>  
白いページが表示される場合、引き続き手順を実施してください。  
白いページが表示されない場合、インターネットの接続が制限されていることがあります。この場合、インターネットに接続可能な環境で、閲覧型の秘文機密ファイルを閲覧してください。
- (c) [スタート] メニューの [設定] - [ネットワークとインターネット] - [プロキシ] を選択します。
- (d) プロキシの設定画面の [設定を自動的に検出する] がオンか確認してください。

図 4-1 プロキシの設定画面



[設定を自動的に検出する] がオンの場合、[設定を自動的に検出する] チェックボックスをオフに設定し、閲覧型の秘文機密ファイルが閲覧できるか確認してください。設定したあとも同じエラーが表示される場合は、引き続き手順を実施してください。

[設定を自動的に検出する] がオフの場合、引き続き手順を実施してください。

- (e) プロキシの設定画面の、[セットアップ スクリプト使う] がオンか確認してください。



図 4-2 [ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定]ダイアログ



[セットアップスクリプトを使う]がオンの場合、[自動構成スクリプトを使用する]チェックボックスをオフに設定し、閲覧型の秘文機密ファイルが閲覧できるか確認してください。設定したあとも同じエラーが表示される場合は、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

[セットアップスクリプトを使う]がオフの場合、ファイル作成者に連絡してください。ファイル作成者はユーザサポートに連絡してください。

- (2) 「RMVWR\_MSGID\_E9001」が表示され、閲覧型の秘文機密ファイルを閲覧できません。

インターネットの接続が制限されている環境の場合、本メッセージが表示されることがあります。この場合、インターネットに接続可能な環境で、閲覧型の秘文機密ファイルを閲覧してください。

- (3) 正しいパスワードを入力しても、閲覧型の秘文機密ファイルを閲覧できません。

閲覧型の秘文機密ファイルがビューアと関連付けられていないため、閲覧型の秘文機密ファイルを閲覧できないことがあります。2.1の注意に記載された手順を実施して、閲覧型の秘文機密ファイルとビューアを関連付けてください。

## 5. お問い合わせ先

最新の情報は、弊社までお問い合わせください。

URL : <https://www.hitachi-solutions.co.jp/cgi-bin/products/hibun.html>

## 6. 商標

---

HITACHI, JP1 は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

Microsoft、Internet Explorer、Microsoft Edge、Windows、Windows Server は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

秘文、HIBUN、Information Cypher、Information Fortress、MailGuard、ContentsGate は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

All Rights Reserved. Copyright (C) 2015, 2023, Hitachi Solutions, Ltd.

—以上—